

神戸の中小ものづくり企業の紹介

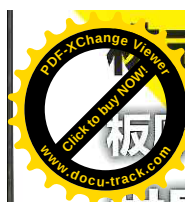
技術がキラリ

ひとづくり ものづくり



AR ものづくりの“ひと”と“技”を映像で見る

神戸市



板厚より小さい孔をあける技術。

世界トップクラスの「スーパーパンチング™」



ひたすら
試して考えて、
答えを見つける。

明石工場 打抜グループ

立田 秀世 (入社6年目)

ひとづくり

仕事と
プライベートは
ONとOFF。

明石工場 NCグループ

(入社5年目) 大橋 力

会社で英会話勉強。
展示会で欧米に出張も

「こなら、ライン仕事でなく、自分の頭で考えて、好きなものづくりができそう」と、インターンシップでの印象で入社を決めた。打ち抜きは言葉では説明しにくい。金型に針をどれくらいの深さでとりつけるか、どれくらいの力で押さえ、どれくらいの早さが一番うまくいくかどうかの加減。常にギリギリを試さない技術は上がらない。

将来は他部署にも応援に入れるような多能工が目標なので、今NCグループで研修中。大橋君は同じ高校の1年後輩だが、テキパキとこなすのはすごいな、と。

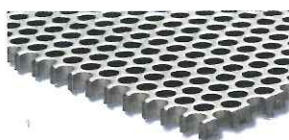
間違いの原因は見つけることが
自分の成長につながる。

NCグループの仕事は、加工だけでなく、準備、仕上から、梱包までいくつも工程を把握しつつ、常に余裕をもって、先を考えて手をうつ。段取りがすべて。立田さんのつくった製品はいつもきれいに打ち抜かれていてすごいと思うし、一つひとつのものづくりはもちろん大事。でも、自分は人や各工程に目配りして、全体でのものづくりを考えるタイプ。

だから、目標は人に頼られ、相談される人になること。よく人を見て、人の言葉に耳をかたむけたい。

ものづくり

「他社がやらないことをやる」
をモットーに創業121年の老舗



たとえば、薬品製造に使う造粒機や自動車部品などに欠かせないフィルターなどとして使われています。製品種類は用途によって何万種類。新しい技術

への挑戦は経営理念であり、通常加工不可能とされる、板厚より小さな口径の穴を短い間隔であけられる「スーパーパンチング」の技術を開発。樹脂やCFRTP(熱可塑性炭素繊維)など金属以外の材料への加工も実現しています。

神戸メリケンパーク
「フィッシュダンス」



うろこに当社の技術が

自社開発「スーパーパンチング」は
欧米など数十カ国で商標登録

2013年にはシカゴ、2014年にはデュッセルドルフに事務所を開設しているほか、海外の展示会にも積極的に出展し高い評価をいただきました。2016年には欧米の同業メーカーと販売提携締結。海外にも販路拡大を推進しています

We Are



「Welftec 2015」(シカゴ)に参加

Message



パンチングメタル技術で
世界一を目指そう!

代表取締役社長
奥谷 智彦

自ら進んで勉強し、積極的に業務に携わってほしいという意欲のある若手社員には、成長のチャンスを用意している会社です。

創業121年を迎え、ますます世界トップレベルの技術を進化させて、社会に貢献していきます。

Memo



神戸本社には
パンチングメタルの
ショールームも併設

パンチングマン
多彩な
キャラクターも登場。
社員によるブログも

